自分の意志で考え判断し表現できる生徒　自他を尊重し変化を前向きに捉える生徒　健康で安全な生活の中で挑戦できる生徒

浜頓別町立浜頓別中学校
学校だより　　第８号
Ｒ８年１０月３０日発行
文責・編集・発行：教頭

浜中ＨＰはこちら

小さな海

「会議がつまらない」、「打合せがつまらない」、なんてことが、大人になってもあります（よね？）。子どもたちの立場に立ってみれば、「授業がつまんない」、「学校がつまんない」ということになるかと思います。

こういったことが「つまらない」と感じるとき、多くの場合は、「受け身」であったり、飽きていたりするのではないでしょうか。そんな状況を改善するために大切なのは、「主体性」と「変化（刺激）」なんじゃないかなと思います。

会議や授業の中身に興味を持てるならそれに越したことはありませんが、そうでなくても、「すっきりとした説明だな」とか「そんな表現を使うんだ」ということに意識を向けてもいいでしょうし、いつもと違う文房具を使うとか利き手と逆の手を使ってみるということもいいのではないでしょうか。

誰かがなんとかしてくれるのを待つ、という手もありますが、「主体的」に取り組んだり、「変化」を付けたりする方が、精神衛生的に健全ではないかと思います。大したことはできなくてもちょっとずつを積み重ねることで、「つまらない」から抜け出し、素直に笑える日が来るといいなと思います。

浜中生の日常

北海道教育委員会からのお知らせ

北海道公立学校検索サイト
「Kitapath（キタパス）」を開設しました。

自分にぴったりの学校が、きっと見つかる。

キタパス
Kitapath
北海道教育委員会公式　北海道公立学校検索サイト

Kitapathは、北海道の公立高校等を「知る・比べる・見つける」ことができるサイトです。
進路を考える中学生や保護者の皆様の情報収集に、ぜひご活用ください。

気になる学校を知る
複数の学校を比べる
まだ知らない学校を見つける

アクセスはこちら
https://kitapath.hokkaido-c.ed.jp/

～後期生徒総会～

１０月２１日（水）には、生徒総会が行われました。各委員会等から前期の反省と後期の計画が提案されました。

各学級からの質問や意見では、各委員会での活動に対し、「自分たちでもできるようにしてほしい」といった意見や、「冬季もノーネクタイノーリボンとボタンを１つ開けられるようにしてほしい」といった意見が出されました。

学び方を学ぶ

校長　明石　貴宣

１０月５日（月）の後期始業式において、後期に期待することとして「授業の中で成長してほしい」と生徒に伝えました。学校生活の中で圧倒的に多くの時間を過ごしているのは授業です。この時間を無駄に過ごすのはもったいない。授業というのは単なる学習時間ではありません。知識を増やし、技能を身に付け、想像を膨らまし、考えを巡らせ、自分とは違う考えに触れ、自分を表現し、時には助け合い、時には悩みながら、能力的にも人間的にも新たな自分に進化していく時間です。学校に集まって学ぶ意味がそこにはあります。「最近、〇〇くん授業中の様子、変わってきたんだよねー。」「さっきの社会の授業の〇〇さんの発言、すごく良かったんだよね。」こうした先生方の声を職員室で聞くことや、実際に授業を見て生徒の成長を目の当たりにすることがあると、本当にうれしくなります。

そんな生徒の様子をご覧いただこうと１０月１６日（金）に実施した１日授業参観日には、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。行事での成長というのは確かに見えやすいのですが、それは学校生活の一部にすぎません。行事をご覧いただくのももちろんありがたいのですが、１２月にも授業参観を予定していますので、ぜひとも「授業での成長の様子」をご覧いただきたいと思います。

とはいえ、授業での成長と言われてもなかなかピンと来ないかもしれません。「黙って先生の話を聞いて、言われたことを言われたとおりにやる」ことがよしとされていた時代は確かにありました。当然ながら今は授業のスタイルも違うし、身に付けるべき学力も違います。そんな中で「学ぶべきことをどうやって学ぼうとしているか」ということが大事になります。授業を「教わる時間から学ぶ時間にできているか」とも言えます。学び方は人それぞれですが、様々な学び方に触れると自分の学び方の引き出しも増えていきます。

例えば、ローストビーフを作りたいと思ったら皆さんはどうしますか？今ならレシピサイトや YouTube で検索することが多いでしょうか。場合によっては作ったことのある友人に聞いたり、お店に行って食べてみて見よう見まねで作ったりするでしょうか。あるいはカツオのたたきを作ったことがあるからその技法を応用しようと思うでしょうか。実はこれこそが「学び方」であり、主体的な学びと言えます。

授業の中で、知りたい、わかりたいと思って学習に立ち向かっていく生徒の様子がたくさん見られるようになることが、今から楽しみで仕方ありません。

生成ＡＩで作成した「カツオのたたき」のイラストです⇒